

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 大和リース株式会社 熊本支店				・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		常に目に触れるところに企業理念・経営ビジョン・社員憲章を掲示している。ビジョンBOOKを全従業員へ配布し、会社のあるべき姿の実現に向け、社員一人一人が「公の精神」のもと社会のさらなる発展に寄与するという使命を持っている。								8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守・リスク管理・情報管理・業務効率・監査等の内部統制の運用状況の情報収集および改善指示を行う内部統制委員会を設置している。																16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		公正かつ自由な競争を行動規範に掲げ、談合等の自由公正な競争原理を阻害する行為、疑惑を招くような調整のための情報交換・会合・接触をしないよう公正な取引に取り組んでいる。内部統制システム構築の基本方針を掲げ、コンプライアンス・リスクマネジメント体制を整えている。										10						16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		4つの事業部、技術本部、管理本部を設置し、責任者(担当役員)を任命している。各事業の企業活動が、社会・環境に及ぼす影響を把握している。																16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産の重要性を認識し、第三者の知的財産権を尊重するとともに、それを侵害する恐れのある行為は慎んでいる。								8.2 8.3	9							16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護規定を設けている。個人情報漏洩事故は誰もが起こす可能性があることを常に意識し、緊張感をもって収集・利用・提供・管理に細心の注意を払う行動を啓発している。															16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		毎年1回不正行為等の問題点を顕在化させるとともに、共存共栄の精神をもって取引先と接し、クリーンな企業体質を醸成することを目的に「取引先アンケート」を実施している。通報制度「パートナーズ・ホットライン」を開設している。															16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	取引先さまに求めるCSRの基準で、企業倫理綱領・行動規範をベースにして、人権・安全などの「社会性」や、カーボンニュートラル・化学物質などの「環境性」について遵守していただきたい事項を示す「サプライチェーンサステナビリティガイドライン」を制定している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	2018年10月に「BCP基本方針、BCM規程」を制定している。BCP基本方針にて4つの経営者コミットメント・8つの行動指針を掲げ、事業活動に支障をきたすあらゆるリスクに備えている。									9		11		13.1			16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●										8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		差別やハラスメントに関する人権啓発研修を年2回、全社員へ実施している。人権相談窓口、社外相談窓口、ハラスメント相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労災事故防止・交通事故防止および職場の労働環境の維持・向上を目的として、毎月、安全パトロール・安全協議会を実施している。管理監督者向けのメンタルヘルス教育ツールにて教育・啓発を行っている。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態に関わらず、公正な待遇を行っている。就業規則、嘱託社員就業規則、SCSマイルプランナー就業規則、時間給契約社員就業規則を定めている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		有給休暇の目標取得率を70%に設定し、「リフレッシュ休暇、ホームホリデー、ハローババ休暇、時間単位の有給休暇」等の有給休暇制度を通じて、有給休暇を取得しやすい環境づくりに取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		資格取得などの自己啓発への支援制度、OJTエルダー研修、新みらい塾や管理職研修等の教育研修制度、部門別研修制度を設けている。目標管理制度、人材育成面談制度を設けている。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康経営優良法人2024の認定を受けている。企業倫理綱領および行動規範において「健康管理・安全衛生への配慮」を掲げ、基本理念に則って、従業員が健康かつ安全に働くことができる環境づくりに取り組んでいる。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		「意思決定の多様化」と「業容拡大の実現」のために、インクルージョン推進室を設置し、多様な人材が活躍できる職場環境づくりに取り組んでいる。若者・女性・高齢者・障がい者など、すべての従業員が意欲と能力に応じて働ける環境を整え、持続的な成長を続けるための活動を継続している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	2022年2月にフレキシブル勤怠管理を導入し、仕事に適した場所をフレキシブルに移動することで、生産性の向上と働きやすさを実現させるモバイルワークを推進している。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	2022年10月に「ワークサイト」を導入し、従来の紙ベースの労務安全関係書類をデジタルに移行させ、業務の効率化を図っている。								8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12						

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト			事業者名: 大和リース株式会社 熊本支店		基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		エコ・ファースト企業の認定を受けている。ISO14001を取得している。 弱溶剤塗料・PRTR対応型シンナーの使用率99%以上を維持するとともに、塗料水性化や塗料使用量の低減を推進し、有害化学物質の排出削減に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎年CO2排出量の環境目標を設定し、全社統一のエネルギー使用量管理票を用いて、事務所、自社施設の電力使用量・二酸化炭素排出量、社用車のガソリン使用量を把握している。エネルギー使用量削減の為に、事務所の一斉消灯、省エネ活動、エコドライブに取り組んでいる。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		全社統一のエネルギー使用量管理票を用いて、事務所、自社施設の電力使用量・二酸化炭素排出量、社用車のガソリン使用量、自社施設においてはフロン排出量の定期点検を実施し温室効果ガスの排出量を把握している。温室効果ガスの抑制のために、事務所の一斉消灯、省エネ活動、エコドライブに取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		リユース式で環境負荷の少ない製品を提供している。緑化を提案・施工し、緑地の創出に取り組んでいる。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		廃棄処分していた使用済みの外壁ウレタンパネルを、流通会社や電炉メーカーと連携して鉄の原材料として再資源化する取り組みを行っている。2023年10月に電炉材を活用した環境配慮型立体駐車場を開発し、販売している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		現場における水使用量の把握を行っている。 汚水の適切な処理について関連法令学習会を実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		エコ・ファースト企業の認定を受けている。 グリーン調達対象品目の中から施工項目を抽出し、効率的に採用している。 FSC認証等環境に配慮した事務用品等を使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	防災備蓄パンを事業所で備蓄している。一定期間備蓄後、賞味期限前に回収し、NGOなどを通じて国内外の食糧難に苦しむ方々に届けることで、食品ロスの削減に貢献。	1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	熊本支店事務所入口に壁面緑化・緑化商品を設置している。 事業活動においては、屋上・壁面・室内緑化の提案・施工を行うことで緑地の創出と空気の浄化作用やヒートアイランド現象の緩和を促進している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	再エネRE100宣言の参加企業である。自社の管理物件に太陽光発電所を設置し、節電・二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいる。 街路灯、トンネル照明、学校室内灯などのLED化を提案・施工・管理し、省エネを促進している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	Sランク木材を100%使用することで材料調達による森林破壊ゼロの実現を目指している。							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	2020年4月より企業活動における適正なプラスチックの利用を行う為に「Daiwa Plastics Smart Project」に参画している。使い捨てプラスチックの削減活動と海洋プラスチック関連の地域共生活動を推進している。													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	営業用社用車はすべて低燃費車を導入している。通勤においては原則公共交通機関を利用することとしている。										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	3R・気候変動検定の取得を全社員へ推進するとともに、BEI値、事務所・自社施設のCO2排出量、産廃リサイクル率等についての環境目標を掲げ、計画的にCO2削減に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 大和リース株式会社 熊本支店				・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		品質管理・品質保証の業務を確実に遂行するために「品質保証体系図」を作成し、商品およびサービスの品質を確保する責務を遂行している。品質向上および業務改善を強化するために「アフターサービス管理規定」を定め、定期訪問を実施している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		「共用品・共用サービス」を推進している公益財団法人共用品推進機構の活動内容に賛同し、「共用品」「共用サービス」を施設づくりに取り入れている。社内向けHPも作成している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	熊本県産の原材料を優先的に使用し、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	施工・解体時の産業廃棄物を大幅に削減できる資源循環型の「リユース基礎」や、廃木材や廃プラスチックを原材料にした再生建材「リニューウッド」を開発し、商品化している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域清掃、環境保全、被災地支援、エコキャップ収集による国際貢献等の活動を行っている。2019年12月に「社会貢献活動 社内ルール」を策定し、社会貢献の活動方法を明文化している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		全国の事業所・デポ・工場において、毎年、防災訓練・AED訓練を実施している。また、2023年9月から全役職員の防災対応力の向上を目的に「防災・減災研修」を実施している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	全社的に防災士資格取得の推進を行い、熊本支店でも1名取得している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	2022年7月から全国の自治体に向けて「ため池監視システムの危機管理型水位計」を販売及びリースにて提供している。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	2020年4月に「SDGs推進委員会」を発足し、営業部門・設計部門の中堅・若手社員向けのSDGs研修を実施している。今後も階層別研修を継続的に開催し、SDGsの達成に向けて積極的に取り組んでいく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	就職活動の学生に向けて、季節ごとに1day・5dayの仕事体験や質問会等を実施している。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。